

第5学年 学力向上のための学習指導案（国語科）

平成30年10月4日木曜日 第3校時

越知町立越知小学校

5年 児童数37名

場所5年教室

指導者

学習指導要領

「A 話すこと・聞くこと」

目標・・・目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。

内容・・・互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。(1)オ

「B 書くこと」

目標・・・目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。

内容・・・事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。(1)ウ

1 単元名 明日をつくるわたしたち

教材名 ～ 身の回りの問題を解決するために、説得力のある提案書を書こう ～

2 単元設定の理由

○単元観

本単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の複合単元である。「話すこと・聞くこと」では、互いの立場や意図をはっきりさせながら計画的に話し合うことを重点的に指導する。「話すこと」については、目的や意図に応じるために、話の構成や内容を的確に話すことを目指している。具体的には、取り上げる事柄について十分調べたり考えたりして理解し、話の構成や内容、考えたことや伝えたいこと、言葉遣いを一層的確にすることが求められる。「聞くこと」については、相手の意図をつかみながら聞く能力を目指している。話し手の意図を考えながら、話の中心、構成や内容上の工夫及び適切な言葉遣いに注意して聞く力を養う。

「書くこと」については、「文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力」を育成することをねらいとしている。

「提案書」の形式から、事実と意見の区別、簡潔な結論、詳細な解決策など、目的に応じて書き分ける力を養う。高学年では、生活や委員会活動の中で提案する機会が多くある。そこで、読み手にもよく理解できるような目的や意図に応じた効果的な文章構成、記述になるよう工夫する力をつけさせることが大切だと考えられる。

○児童観

本学級の児童は、「話すこと・聞くこと」については、三年生で、進行を考えながら話し合う学習をし、四年生では、話し合いの仕方について考えている。五年では、一学期に「きいて、きいて、きてみよう」で、話し手の意図を考えながら聞く学習をしている。「話し合い」の様子からも自分の考えをしっかりと伝えることができ、相手の考えについても反応しながら一生懸命聞き、質問をしたり、メモをしたりしながら聞こうとする様子が見られる。しかし、グループでの話し合いになると、話し合いの目的から話題がそれてしまったり、決められた時間内に発言することができなかつたりする様子も見られる。また、複数の考えをまとめられずに一人の意見がグループとしての考えとしてまとめられているグループも見られる。

「書くこと」については、今までに報告書、説明書、新聞、リーフレットなどさまざまな文種・形式について学習

している。本単元の重点である「記述」については、「次への一步——活動報告者」で、事実と考えを区別して書くこと、必要に応じて理由や事例を挙げて書くことなどを経験している。「推敲」についても、「日常を十七音で」で、言葉をよりすぐって俳句を作る学習を行い、より感動が伝わるよう表現を工夫する学習を行っている。日記や作文を書くことに意欲的で、普段の様子や出来事を楽しんで書いている様子も見られる。しかし、文章で表す様子を見ると、一分が長くなってしまい分かりづらくなっていたり、主語と述語が対応していなかったりする児童も見られる。その要因としては、相手に伝わりやすい表現の仕方や、文章を読み返す際のポイントを理解していないことなどが挙げられる。このことから、より相手に伝わりやすい文章の書き方などの指導が必要だと考えられる。

○指導観

指導にあたっては、説得力のある提案書にするために、事実と考えを区別したり、内容によって表現の仕方を工夫したりして書き表す力を身に付けることができるようにさせる。児童が自らの力で「より伝わりやすい提案書」へと推敲できるようグループでの練り合いや話し合いを大切にしていきたい。

まず、学校生活をよりよくするために必要なことについて学級全体で話し合いを行い、それらの問題点や現状を確認させる。その際、学校生活に対する関心や視野を広げるためにも実現可能な内容になるよう留意する。提案書の構成を学ぶ場面では、教科書の文章を分析することで、現状や問題点、解決策、文末表現など、提案する文章に欠かせない内容をしっかりと押さえさせたい。次に、グループで選んだ内容について解決策を調べたり、交流したりしたことを文章全体の構成を考えて、提案書に書くようにさせる。交流の際には、目的に合わせて話題にして話し合うよう、司会者や記録者などの役割を決めておくようにする。その際、互いの意見をしっかりと聞き合い、受け止め、話を進めていくことが皆の意見を大切にすることにつながることを実感させたい。最後に、グループで書いた提案書を、推敲ポイントを意識してより説得力のある文章へと修正させていく。推敲ポイントには、【①漢字や誤字、主語、述語などの文章の間違いに気づかせるもの ②文章をより分かりやすくするもの】を入れるようにする。本時では、グループで話し合った説得力のある表現の仕方について全体で出し合うことで、一人では気づくことのできなかつた改善点を見つけ、ほかのグループと比較することで表現や構成の違いに気づき、読み手を意識した分かりやすい文章へと修正できるように指導していきたい。

3 単元の目標

◎話題を決めて、収集した知識や情報を関連付け、互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うことができる。

◎自分たちの身の回りにある問題について調べ、解決のための提案書を書くことができる。

・語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> 問題について調べ、解決のために提案書を書くということに関心をもっている。 説明や報告をよりよいものにするため、助言や提案をしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 収集した知識や情報を関連づけて話し合っている。 (1) ア 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合っている。 (1) オ 	<ul style="list-style-type: none"> 事実と感想、意見を区別して、目的や意図に応じて提案書を書いている。 (1) ウ 表現の効果を考えて書き、表現の仕方に着目してよりよくなるよう推敲している。 (1) オ 	<ul style="list-style-type: none"> 語感、言葉の使い方に対する感覚などについて意識して話したり聞いたりしている。 (1) イ (カ)

5 指導と評価の計画 (全 13 時間 本時 10/13)

次	時数	○指導のねらい (目標) ・学習内容、学習活動	評 価			
			関	話 聞	書	言

1	1	○自分たちの身の回りの問題について調べ、解決のための提案書を書く学習の計画を立て、学習の見通しをもつことができる。 ・自分たちの身の回りにどんな問題があるのか話し合い、学習計画を確認する。	◎			・身の回りにどんな問題があるのか、積極的に調べようとしている。 (発言・ノート)
	2 ・ 3	○自分が取り上げたい問題について、インターネットなどを使って情報を集め、考えをまとめることができる。 ・身の回りの問題について情報を集め、取り上げた問題について自分の考えをまとめる。			◎	・情報収集の方法を知り、いくつかの方法を用いて情報を集め、自分の考えをまとめている。(発表・ノート)
2	4	○それぞれの問題についての考えを発表し合い、協議して、グループで何を提案するかを決めることができる。 ・グループで互いに質問したり答えたりして、意見を交流し、提案する問題について協議する。		◎		・収集した知識や情報を関連づけながら協議している。(話し合い) ・自他の意見の違いを踏まえ、計画的に話し合いを進めている。 (話し合い)
	5 ・ 6	○決まった問題について、内容と理由、現状と問題点、解決する方法を考えるために役割分担して資料を集め、グループで話し合い、提案する内容を明確にすることができる。 ・問題を解決するために必要な資料を集める。 ・グループで話し合い、集めた資料を選択したりまとめたりする。		◎		・決まった問題について、内容と理由、現状と問題点、解決する方法を考える資料を集め、話し合うことで提案書に書く内容を助言したり、提案したりしている。 (ノート・話し合い) ○ ・語感や言葉の使い方を意識して話したり聞いたりしている。 (話し合い) ・グループで話し合い、集めた資料をまとめるために助言や提案を進んでしている。
	7	○提案書の書き方を確認し、提案書の構成内容や表現の特徴を考えて、構成メモを作成することができる。 ・教科書の提案書の例を読み、書かれている内容や構成、表現の工夫を確かめる。 ・グループで提案書の構成を考え、構成メモを作る。			◎	・説得力のある提案になるように、提案書の構成や内容、表現の効果を考えて、自分たちの提案書の構成を考えている。 (構成メモ) ・よりよい報告書にするため、構成を考えて積極的にメモしようとしている。
3	8 ・ 9	○構成メモに沿って、分担部分を記述し、必要に応じて修正するなどして、つながりよく提案書をまとめることができる。 ・自分の分担部分について、調べたことを記述する。 ・グループで持ち寄り、全体のつながりが良くなるように話し合いながらまとめる。			○	・構成メモに沿って、事実と感想・意見をかき分けて、分担部分を書いている。 (提案書の下書き) ・必要に応じて記述を修正して、つながりよく提案書をまとめている。 (提案書の下書き)
	10 本 時	○書きまとめた提案書をグループで読み返して助言や提案を行い、推敲することができる。 ・推敲の視点を確認し、よりよい表現になるようグループで話し合い推敲する。 ・提案書を修正したり、表現を工夫したりする。 ・説得力のある提案書にするために大切なことを全体で話し合う。			◎	・提案書を読み直し、構成や内容、表現の効果を考えて、適切な提案書となるように推敲している。 (提案書の下書き) ・提案者の意図がより伝わるようにするには、どこをどのように修正すればよいかを助言したり、よりよい説明や報告をするために具体的にどうすればよいかを考えて提案したり

						している。(話し合い・ノート)
	11	○説得力のある提案書になるよう、表現や表記を見直して修正し、清書することができる。 ・提案書を仕上げるときに大切なことを確認する。 ・提案書を修正し、清書する。			◎ ○	・説得力のある提案書になるよう語感、言葉の使い方などの表現を工夫し、提案書を清書している。(話し合い・提案書) ・構成や表現を見直し、よりよくしている。(提案書)
4	12	○他のグループの提案書を読み合い、文章の書き方について感想を交流することができる。 ・交流のポイントについて話し合う。 ・提案書をグループで交流して読み合い、感想を交流する。		◎		・他のグループの提案書を読み、構成や集めた情報の使い方、言葉の使い方や文末表現など、説得力のある表現や内容について、感想を交流している。(発言・ノート)
	13	○学習を振り返り、それぞれの学習で身につけたことや学習の価値をまとめることができる。 ・協議を進める上で大切なことや提案書を書くときに大切なこと、学んだことなどを話し合い、単元の学習をまとめる。	○			・協議の仕方や提案の仕方、他の場で生かす意欲をもっている。(発言) ・協議する方法や大切なこと、提案書を書く工夫やよさを書いている。(ノート)

6 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・書きまとめた提案書をグループで読み返して助言や提案を行い、推敲することができる。

(2) 本時の評価規準

- ・提案書を読み直し、構成や内容、表現の効果を考えて、適切な提案書となるように推敲している。(提案書の下書き)
- ・提案者の意図がより伝わるようにするには、どこをどのように修正すればよいかを助言したり、よりよい説明や報告をするために具体的にどうすればよいかを考えて提案したりしている。(話し合い・ノート)

(3) 準備物

- ・提案書の下書き
- ・構成メモ
- ・推敲の視点
- ・短冊

(4) 学習の展開

学習課程	学習活動	○教師の働きかけ ◇評価(方法)	学習用語
導入	1. 前時までの学習を振り返る。 ○前に時間に学習したことをペアで伝え合ひましょう。	○提案書の下書きや学習掲示を見てペアで前時の振り返りをさせる。	
課題設定 (3分)	より相手に伝わりやすい提案書にするために、説得力のある表現を見つけようしよう。		
問いの共有	2. 説得力のある提案書にするための推敲のポイントを確認する。 ○相手が納得してくれるような提案書にするためには、どのように推敲したらいいですか。見通しを立てましょう。 ・問題点に合った説得力のある解決策になっているかや、文末表現が適切かを見直すと良いです。	○推敲の視点を話し合って確認することで、児童が活動しやすくなるようにする。 【推敲のポイント】 ①問題点に合った説得力のある提案内容になっているか。(解決策・いつ・どこで・だれが) ②つながりよく書けているか。(主語・述語・つなぎ言葉) ③文末表現が適切か。(事実・意見・考え・よびかけ表現・【です・ます】【だ・である】)	現状 問題点 説得力 解決策 つながり

<p>解決活動 自力解決 (3分)</p>	<p>3. 提案書を読み、修正が必要なところを 考えて書く。 ○提案書を読み返し、わかりにくい部分 を見つけ、よりよい表現にしましょう。</p>	<p>○提案書のコピーをそれぞれが読み、推 敲の視点に沿って気づいたことや、伝わ りにくい表現を見つけ書きこむようにさ せる。 ○推敲が苦手な児童には、表記・表現を 修正した方がよいと思われる個所を教師 が指摘し、一緒に考える。</p>	<p>事実 意見 考え</p>
<p>班学習 (12分)</p>	<p>4. グループで提案書を読み合い、意見を 交流しながら推敲する。 ○どこを修正するとよいか、グループで意 見を出し合い、話し合ひましょう。</p>	<p>○より伝わりやすい提案書にするため にどのように修正したのか、表現の工夫や 内容をグループでまとめさせる。 ○班で話し合った表現の工夫をそれぞ れ短冊に書き、整理させる。 ◇提案者の意図がより伝わるようにす るには、どこをどのように修正すれば よいかを助言したり、よりよい説明や 報告をするためにどうすればよいかを 考えて提案したりしている。 (話し合い・ノート)</p>	
<p>全体学習 (18分) ・学び合い ・考察 (5分)</p>	<p>5. 説得力のある提案書にするために、修 正したことを、2つのグループに分かれ て交流し、全体で共有する。 ○相手が納得してくれるような提案書に するため修正したことを交流しましょう。 ・今問題になっている現状や問題点がより 伝わるよう、図や写真などを交えて説明 するようにしました。 ・事実や考え、提案を区別せずに書いてい たのでそれぞれ分けて書きました。提案 をする部分は、「～しましょう」と呼びか ける書き方にしました。 ・説得力をもたせるには、解決策が問題の 解決につながると思ってもらう必要があ るので、解決する良さを伝えることが必 要なのだと思います。</p>	<p>○学級全体を2つに分け、相手が納得す る提案書にするための表現の仕方や工夫 についてそれぞれ交流させる。 ○各班ごとに短冊を出し合い仲間分け し、説得力のある表現にするための工 夫について気づいたことを出し合うよ うにさせる。 ○グループを回り、話し合いの状況を把 握するとともに、推敲の視点がずれない ように、必要に応じて助言を行う。 ○時間があれば、全体学習で学んだポイ ントを取り入れて、更に推敲させる。 ◇提案書を読み直し、構成や内容、表現 の効果を考えて、適切な提案書となるよ うに推敲している。(提案書の下書き)</p>	<p>図 写真 提案理由 実現する良さ よびかけ</p>
<p>価値の共有 (まとめ)</p>	<p>相手に伝わりやすい提案書にするためには、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題点を図や写真などを活用して具体的に示す。 ・提案が問題の解決につながると思ってもらえるよう、その良さを伝える。 ・問題点、現状、解決策、事実、意見など構成を分けて書く。 		
<p>振り返り (4分)</p>	<p>6. 学習したことを振り返る。</p>	<p>○振り返りの視点を示す。 ○ペアで学習を振り返る。</p>	

7 板書計画

<p>振 ま</p> <p>相手に伝わりやすい提案書にするためには、問題点を図や写真などを活用して具体的に示し、提案が問題の解決につながると思ってもらえるようその良さを伝えると良い。</p>	<p>考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 問題点や解決策を具体的に書く ・ 相手に解決できると思ってもらうことが大切 ・ 解決したあとの良さを伝える 	<p>全</p> <p>相手に伝わりやすい提案書にするために</p>	<p>友</p> <p>見つけ、修正する。</p>	<p>自</p> <p>わかりにくい部分を</p> <p>見つけ、修正する。</p>	<p>見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理由 ・ 解決方法 ・ 解決策 ・ 文末表現 	<p>課</p> <p>明日をつくるわたしたち</p> <p>より相手に伝わりやすい提案書にするために、説得力のある表現を見つけ、すいこうしよう。</p>
<p>すいこうのポイント</p> <p>① 問題点に合った説得力のある提案内容になっているか。 (いつ・どこで・だれが)</p> <p>② つながりよく書けているか。 (主語・述語・つなぎ言葉)</p> <p>③ 文末表現が適切か。 (事実・意見・考え・よびかけ・【です・ます】【だ・である】)</p>						

各班の訂正した内容から、相手に伝わりやすい表現の工夫を話し合う。
※短冊をはって仲間分けする。

		<p>相手に伝わりやすい提案書にするために</p>